



護法

第50号

発行
福井県真宗高田派護法団
福井市花堂南2-10-35
真宗高田派福井別院

新／章／開／幕

世界に誇る歴史建造物

国宝 成る

御影堂と如来堂

高田本山専修寺には国指定重要文化財建造物が13棟あります。「御影堂／如来堂／唐門／山門／御廟唐門／御廟拝堂／鐘楼／大玄閣／対面所／賜春館／太鼓門／通天橋／茶所」そのうち御影堂と如来堂が昨年11月国宝に指定されました。三重県下では最初の国宝建造物となり、木造建築として、規模、立派さ共に、東海



御影堂宮殿



国宝 御影堂 みえいどう



国宝 如来堂 にょらいどう



如来堂宮殿

は、大間が横長になっていること、両余間の床が奥寄りのところまで一段高くなっていることで、これらが各末寺に影響を与えたよつで、この後の高田派寺院建築の特徴となりました。
建造物としての如来堂
建築面積は御影堂に比べるとおよそ半分程ですが、阿弥陀如来の仏殿にふさわしい華麗な建築となっております。屋根を二層として、棟の高さを

に完成しております。

地方 約3万坪の境内地の中心にそびえ立つ二つの御堂の景観は真宗の本山として大いに誇り得る建物です。
御影堂は寛文6(1666)年、今から350年前に上棟され、如来堂は寛延元(1748)年、今から270年前

両御堂に入ると、その大きさに圧倒され、荘厳された伽藍に、自然と心静かに手が合わされ、念仏の称名が聞こえてくる思いです。当時のお同行の方々がどんな思い、願いでこの建物を建てたのか、建築にかかわった人々の託した志が、長い年月を通して、今でも生きていることを感じます。

建造物としての御影堂
建築様式は純和様であって、質素ではありませんが落ち着いた外観を醸し出しております。妻飾りは標準的な二重虹梁組みで、垂れ下がっている懸魚も典型的な三つ花懸魚で、手堅い細工が見事な出来栄です。妻廻り全体を銅板張りとして、破風板に金色に輝く五七桐紋の金具を貼りつけ、落ち着いた重厚感を感じます。
軒丸瓦の向拝を身舎に繋ぐ虹梁の上に笈形をついた太瓶束をのせ、その上から身舎へ海老虹梁で繋ぐという架構は、江戸幕府御用大工が好んで用いた架構でした。
これらの手法により、この御堂の棟梁と江戸幕府との関係が推測されます。内部の間取りは真宗寺院としてほぼ通規ですが、本願寺系の本堂と異なる点

御影堂とほぼ等しくしているのも、本堂としての威容を示すためだと伺えます。
このため外観は二階建てであるかのようには見えませんが、二階があるわけではなく、下層の屋根は裳階と呼ばれる三種の庇となっております。
また尾垂木という部材の先端を象・龍・獬の彫刻としたり、下層のかえる曇股には中国の故事に基づいた人物の彫刻が組み入れたりして、実に手の込んだ精巧な建築物となっております。
一人でも多くの皆様には是非お参りいただきたいと願っております。 合掌

法衣・寺院用仏具・念珠・稚児貸衣装
仏教用品総合製作

ヒサノ法衣仏具

〒910-0019 福井市春山2丁目8-26

TEL:0776-21-3515 FAX:0776-21-3559
E-mail:hisano@ruby.ocn.ne.jp

株式会社
サワザキ佛壇店

〒910-0373 福井県坂井市丸岡町高柳2-16

TEL: 0776-66-6560
FAX: 0776-67-1050

大本山永平寺御用達
和蠟燭製造・薫香 卸

大黒屋本舗

〒918-8001 福井市つくも1丁目5の22
TEL(0776)36-3747(代)
FAX(0776)36-7087

ひとくち法話 「サンガとしての僧」

一組 勝光寺住職 佐々木俊英

私には少し変わった経験がある。布袍・輪袈裟という坊主の恰好（黒い着物に首にかける細い袈裟姿）のまま、救急車に乗ったことがある。しかも二回も。

一度目は、お参りに行って玄關に入ると、お檀家さんが居間で苦しそうに臥せておられた時。二度目はお参りが終わって帰りがけに突然倒れた。二回とも他に人はいなかった。二回とも、すぐに救急車を呼んだ。同時に手を尽くして勤めに出ていた家の方に連絡をとろうとしたが間に合わず、救急車が先に到着。隊員の方に「その場の様子を医師に話してほしいので一緒に乗って。」



(仲間)

「なんだ用意が早えんじや」「もう坊さん呼んでしもたんか」こんなとき、坊主が世間でどう見られているのかをづくつく実感する。つまり坊主葬式をする人間ということだろう。付け加えておくと、二人とも、その後治療を受けて、ちゃんとお元気になられた。それと、そもそも坊主が病院に向いてお申いをする

こと自体ほとんどない。また、住職をしていると時々、お檀家さんの結婚式に招かれることもある。その時も前と同じ恰好なのだが、こちらは大丈夫。周りの方は「ああ手次寺の住職さんも招待されたんやな」と思ってくれる。だが、病院ではそうはいかない。

私たちが坊主の一番の役割は、決して葬式をすることでもないし、年忌法要をあげることもない。その昔、お釈迦様の教えを聞き、喜んだ方々が、僧伽「サンガ」という集団

その教えを実践し、人々に様々な方法で説き広められ今日の仏教の礎がつくられた。私たち真宗の僧も、その一番の役割は、お檀家さん達と共に、お釈迦様そして宗祖親鸞聖人の教えをひたすら聴きひらき、そのみ宗をいただこうとして

いる方々の一つでも手助けをすることである。だが、こんなことを書いている私も省みなければならぬ。いことが山ほどある。たとえば、任職になった当初は、お檀家さんからいわゆる『お仏壇やお墓のお精抜き（また、入れ）』を頼まれると、必ずこうお答えしていた。「少なくとも私たち真宗の坊主は、仏様の霊を出したり入れたりす

ひとくち法話 「晩夏」

二組 真浄寺住職 日下康正

昨年、久しぶりに高校のクラス同窓会が芦原温泉で開催され、全国から二十数名が参加しました。その白髪、禿頭に笑い合いました。物故者も2、3名いて、時の流れを痛切に感じました。高校生の頃と比べて、変わったなあという人も多くいました。日々の人生の歩みとその人の人格なり、性格なりを変えていったのだからと思います。

さて、私はどう思われただろうか。私の歩みは私をどう変えたのだろうか。学校を卒業し、社会人となり、結婚して子供を授かり、孫もできてというごくありきたりの流れをたどってきた中で、自分の

ひとくち法話 「如来様の命をかけた願い」

二組 稱名寺(黒目) 副住職 転法輪 正視

浄土真宗のご法義は阿彌陀様の本願を聞くことです。本願とは如来様のお願いのことです。如来様は、愛と憎しみの煩悩に苦悩している浅ましい私達に寄り添い、私以上に悲しみ痛んでくださり、私の心を包んで私たちに安らぎをもたらそうと願っていらっしゃいます。その私達の苦難を、限りなく引き受けてくださった如来様の命をかけた願いのことを本願と言います。

親鸞聖人は「教行信証（行巻）」に、『なほ磁石のごとし、本願の因を吸うが故に』と、磁石の喩えをもって阿彌陀様の本願をあらわされております。磁石は物を吸いつける働きを持っており、しかしその中身を



ただ鉄を吸いつけるだけではございません。磁石は磁波をもって鉄全体を磁石に変えて引きつける働きを持っております。磁石になったからといって、外から見れば鉄は鉄のままです。さびた鉄はさびたままです。曲がった鉄は曲がったままです。

何が変わったのだろうか。一番分かっていないのは自分のことだというのが、確かに人間、自分自身のことがよく分からぬ。知っている人の名前を聞くと、「ああ、あの人はこんな人だ」とすぐに性格なり、外見なりを描ける。しかし、自分で自分の名前を呼んだとき、何か思い浮かぶものがあるだろうか。まして性格となるとお手上げだ。これは無明の最たるものだ。「自分とは何か。自分の本性は何か。」そろそろ、晩年。自分を明らかにしないで自分の人生とはいえない。包み隠さず素直に自分を見つめていきたいと思

れませんでした。私達を如来様の仰せを信ずることのできる人間に育てあげて、お念仏を申せられていこうとされているのです。そして、自らの後ろ姿がまた子や孫を引きつけていくのです。如来様に呼び覚まされる人生とは、愚痴で終わっていきそうな浅ましい私達の人生を変えていき、当たり前のことが有難いことと少しでも自分の人生におかげさまと合掌して生きていけるような人間に転換し育ててくださることだと思っております。



Advertisement for 'Kisshodo' (吉祥堂) featuring services like '仏具修復' (Buddhist tool repair) and '内陣漆箔工事' (Interior lacquer work). Includes contact info for Fukui and Tsuruoka branches.

Advertisement for 'Kitayama' (お仏壇のきづな堂) featuring 'お仏壇のきづな堂' (Buddhist altar repair) and 'フリーダイヤル 0120-172300'.

Advertisement for 'Kitayama' (北山法衣仏具株式会社) featuring '法衣・幕・旗・記念品・寺院用仏具' and '社寺建築・稚児賞衣装・仏壇'.

福井県真宗高田派護法団 団長就任挨拶

僧侶間の信頼、親交の醸成と
更なる壇信徒への情報発信を。

一組 専念山 顕正寺住職 有馬 善明

少々気軽に護法団の団長という大役を引き受けさせていだきましたが、今頃になって、その重さに困惑しています。

さて護法団の役割は？というとその主な事業が研修と広報というところから、団員僧侶の資質向上と、県内壇信徒への情報発信が中心となっているようです。

ただそれだけでなく、もう一つ大切な役割があると思います。それは団員間の親交をはかるということです。

それは護法団が教団とは異なり、あくまで自主組織的な団体だからということだけではないと思います。

とかく信仰は個人的なものだけに独善に陥りがちです。そのため親鸞聖人は自らのほからいごとを否定し、他力本願の教えを説かれました。しかしそうはいってもつい自らはからいごとに頼りがちになるのが我々凡夫の性だと思っています。

そしてそのような時に色々なことを相談でき、指導していただける良き善知識たるご同行の皆さんと多くのご縁があれば、ありがたく頼りになることだと思われれます。そうしたご縁を結ぶために普段からの団員間の親交が大切なことではないでしょうか。



福井別院内陣

このように研修、広報はもとより、団員間の親交を十分にはかることができるよう、甚だ頼りないものですが、他の役員の方々と一緒に、いただいたご縁を二年間、精一杯つとめさせていただきたいと思っておりますので、何卒ご指導、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

護法団理事役員名

(2018年5月・2020年5月)

- | | | |
|----|-------------------|-------|
| 一組 | (団長) 顯正寺 | 有馬 善明 |
| | (庶務) 寶林寺 | 南條 圓然 |
| | (理事) 鳳生寺 | 天井 和峰 |
| 二組 | (副団長) 勝林寺 | 武田 純真 |
| | (理事) 稱名寺(貴) 転法輪正視 | |
| | (理事) 真浄寺 | 日下 康正 |
| | (理事) 正行寺 | 佐々木照信 |
| | (監事) 教林寺 | 三浦 世雄 |
| | (監事) 浄善寺 | 朝倉 光宣 |

特集 シリーズ福井の寺々 VII

越前高田派 寺院探訪

第七回 小和田山 勝林寺

当山は、もともと天台宗の寺院でありましたが、開基の年号や住職のお名前は明らかではありません。

天台宗から真宗高田派に帰向したのは、建長三年(一二五一)で御開山親鸞聖人の法弟顕智上人が北陸地方を巡錫された折のことと伝えられております。

秀尊師には、真孝・真養の二人の子があり、最初、長男の真孝が住職となりますが後に加戸村に移られました。その後、次男の真養が勝林寺住職を継ぎ、以後累代真養の子孫が勝林寺の住職を務め現代に至っています。

本堂と庫裡は安政六年(一八五九)に火災で焼失後新たに建てられ、その後庫裡は昭和四九年に更に改築されて現在に至っています。



創建当時の山門

その後、長享元年(一四八七)に真宗高田派十代目の門跡真慧上人の肉弟秀尊法師がこの地方を御巡化の際、当地方の人々に迎えられるこの地に在居し、勝林寺の住職となられました。秀尊師は永正十三年(一五一一)に入寂されましたが、その古碑は今なお当寺の西方旧墓地に安置されております。

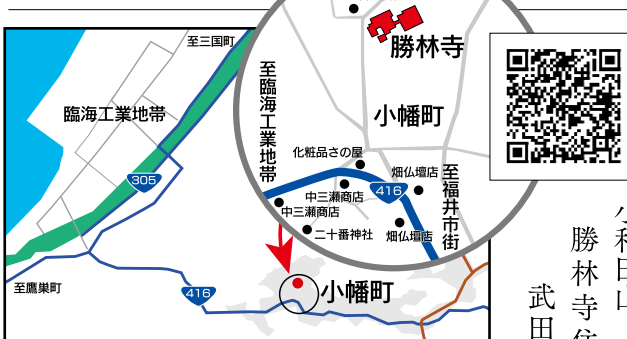


観音堂



落涙の弥陀

山門は、当時からの古い建築物であり、山門楼上に安置されている阿彌陀如来座像は開基当時(天台宗)の御本尊であると伝えられております。高さ約六〇cmの木彫りで黒光りを放ち、ご両眼からの大慈・大悲のお涙の乾く間もない衆生ご救済のお姿から「落涙の弥陀」とお呼びしています。



〒910-3146 福井市小幡町第 6-47-甲
電話:0776-85-1544

小和田山 勝林寺住職 武田純真



千手観音菩薩像

また、境内西方の高台には観音堂がありますが、この観音堂の御本尊千手観音菩薩は高さ約三十cmの木彫りの座像で、もと朝倉義景のご母堂で「二位の尼」と申される方の御念持仏でありました。この二位の尼には二人の妹君がおられ、末の妹君が真孝の内室となられたおり、ご自分の念持仏の千手観音をお贈りになったもので、以後当寺において大切に守りしてきました。

和蠟燭・薫香の製造販売
コタイコクヤ
呉服町
小幡王香
0120-22-0986
福井市順化2-15-9

思いやり・感謝で育む人・未来
かじそ仏壇
0120-54-1932
御用は「休さん」に
ホームページ <http://www.kajiso.co.jp/>
福井総本店: 福井県福井市米松 2丁目 24-36
電話 0776-54-1933

感謝の礼拝 誠実の心
まこと
仏壇おせんたく・念珠・経本・お線香
株式会社 **林大佛堂**
福井市春山 2丁目 6-13 (東別院前)
TEL 0776-23-0711

ご要望の多かった中型の納骨壇36基を新設しました。



納骨は福井別院で。

納骨に三重の本山までちよつと遠いなあ〜
：とお思ひの方に福井別院で本山同様の「納骨」と「お参り」が出来るようになりました。

新設 中型納骨壇
お位牌を余裕を持って設置していただけます。遺骨は合葬納骨口より納骨いたします。お位牌には「〇〇家先祖代々」と表記いたします。ご希望により裏面には法名をお彫りします。
●奥行 117×高さ 330×幅 180 (mm)
●位牌裏面には四法名まで記入出来ます。●一法名彫料は別途三千元を申受けます。

位牌壇 全300基
お位牌を余裕を持って設置していただけます。遺骨は合葬納骨口より納骨いたします。お位牌には「〇〇家先祖代々」と表記いたします。ご希望により裏面には法名をお彫りします。
●奥行 117×高さ 330×幅 180 (mm)
●位牌裏面には四法名まで記入出来ます。●一法名彫料は別途三千元を申受けます。

大型納骨壇 全24基
豪華な装飾を施したスチール製の観音開き仕様。御遺骨をゆつたりお納めいただけます。
●奥行 400×高さ 380×幅 260 (mm)

納骨壇設置方法
別院納骨には次の四通りの方法がございます。
●納骨壇設置
屏の付いた個別区画へ納骨していただきます。
●位牌壇設置
遺骨は納骨口より合葬し別院仕様の位牌に表面「〇〇家先祖代々」裏面には「法名」をお彫りして設置します。
●位牌安置
右同様の仕様に設置します。
●一般納骨のみ
遺骨は納骨口より合葬させていただきます。



合葬納骨口
本尊阿彌陀如来像下の引戸内に「南無阿彌陀仏」の名号と「俱会一処」の合葬納骨口より有縁の方々と共に安置・恭敬させていただきます。

納骨・位牌堂永代供養
今年9月15日 厳修
納骨位牌堂ご加入のお檀家には事前にご連絡申し上げます。

納骨・位牌堂冥加金
大型納骨壇 五十万円
中型納骨壇 二十五万円
位牌壇 四万円
そのほかの一般納骨位牌堂のご利用に次の方法もございます。
●位牌安置のみ 二万五千元
●一般納骨のみ 二万円
※記載されている冥加金は変更する場合があります。予めご了承ください。

納骨壇設置方法
別院納骨には次の四通りの方法がございます。
●納骨壇設置
屏の付いた個別区画へ納骨していただきます。
●位牌壇設置
遺骨は納骨口より合葬し別院仕様の位牌に表面「〇〇家先祖代々」裏面には「法名」をお彫りして設置します。
●位牌安置
右同様の仕様に設置します。
●一般納骨のみ
遺骨は納骨口より合葬させていただきます。

本年度より福井別院報恩講の日程が変わります。

お申込み・お問合せ
お手次寺院または高田派福井別院までご連絡下さい。
冥加金
帰敬式……………一万円
別院御蝋燭料……………三千元以上

福井県真宗高田派門信徒の皆様には、日頃別院護寺にお力添えを頂き誠にありがとうございます。今後とも別院諸行事にご参詣頂きますようお願い申し上げます。

さて、本年度より別院報恩講の日程が変更になります。例年11月14〜15日を変更し、**11月19〜20日**の通り変更になりました。御了承をお願い申し上げます。尚、20日の速夜席(13時30分)法主殿ご親修、ご親教を頂きます。また、本年度は「**帰敬式**」(おかみそり)も併せて行ないますので、ぜひこの縁を賜わり多くの門信徒の方がお申込み頂きますようご案内申し上げます。

帰敬式「おかみそり」
真宗の門徒にとつてこの式は宗祖親鸞聖人のご真影の前で佛法の備へ、三宝に帰依し、聞法する身となることとお誓いする深い意味を持っています。佛は私たちを救わんと立ち上がっておられる阿彌陀如来であり、法とは、そのみ教えであるお念仏であり、僧とは、佛と法に帰依して歩むこととする教団であります。この帰敬式を受けることは「第二の誕生」と言ってもよいでしょう。両親を縁としてこの世に生を受け、無自覚に、自分本位のままに歩んできた私が、新しい生まれ変わるという意味を持っています。自分本位の欲望の人生にはどこか暗さがつきまといまいます。この暗さに気づいて自我中心の人生が迷いであったことに目を覚ましたときが、「第二の誕生日」であります。そこには、すでに佛・法・僧の三宝を抛り所として歩むべき道が開かれています。佛弟子としての名乗りが、帰敬式を受けて法名を頂くということとなります。

平成三十年度真宗高田派福井県内
月・寺院名・組別・住所・会期の順に掲載。お近くの高田末寺へもぜひ、お参りください。

ご門徒の皆様へ

福井別院 「護持費」
福井別院は、県下高田派寺院・檀信徒の皆様によって護持、運営されております。お手次のお寺様同様、福井別院へも懇志をお寄せいただきたく、納入をお願いいたしております。

福井別院護持費 五〇〇円
(檀家・年間)

「護持費」納入方法
直接、お手次お寺様へ納入
お寺様に集まった「護持費」は一括して別院へ納入していただいております。これまで未納の檀信徒の皆様にも、ぜひ「護持費」納入をお願い申し上げます。

10月	9月	6月
西光寺 1 あわら市中川	勝鬘寺 2 福井市風尾	慈照寺 2 福井市尼ヶ谷第4日曜日
榮照寺 2 大野市牛ヶ原	浄善寺 2 福井市鹿俣第3日曜日	
常樂寺 1 三国町加戸	鳳生寺 1 三国町覚善	
松樹寺 1 三国町高	信行寺 1 三国町山王	
真浄寺 2 大野市庄林	稱名寺 2 三国町黒目	
安養寺 1 あわら市北潟	頭正寺 1 あわら市北潟	
勝願寺 1 あわら市北潟	西方寺 2 福井市縫原	
法久寺 2 三国町山岸		
圓光寺 1 三国町梶		

真宗高田派専修寺

福井別院

〒918-8015 福井県福井市花堂南2丁目10-35 電話:0776-35-2299/FAX:0776-35-2291
mail:takadabetuin@yahoo.co.jp

福井別院 年間法要
1月:御正忌/3月:春季彼岸会/5月:宗祖聖人降誕会/7月:永代経
9月:納骨位牌堂法会・秋季彼岸会/11月:報恩講

11月	
本流院 1 三国町加戸	稱名寺支院 2 福井市御幸
大願寺 2 三国町米納津	願生寺 2 福井市鮎川
勝光寺 1 坂井町上兵庫	光願寺 1 あわら市北潟
正行寺 2 福井市西天田	聖照寺 2 越前町三崎
仙福寺 2 福井市足羽	光徳寺 2 福井市味見河内
寶幢寺 2 三国町黒目	法性寺 2 福井市小丹生
珠光寺 2 福井市南菅生	法圓寺 1 三国町北本町
寶林寺 2 大野市友兼	教圓寺 2 三国町新保
寶林寺 1 三国町神明	遠成寺 1 三国町南本町
寶林寺 2 三国町折立	稱名寺 2 福井市折立
高田別院 福井市花堂南	

末寺報恩講